



評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ニーズをとらえる力

〔14-新人〕消化器系の解剖生理とフィジカルアセスメントの基本

1. 食道から肛門に続く、消化器官の名称を答えてみましょう。

食道-胃-十二指腸-空腸-回腸-盲腸-上行結腸-横行結腸-下行結腸-S状結腸-直腸-肛門

2. 三大栄養素の消化吸収過程の違いを説明してください。

- ・糖質は多糖類から単糖類にまで分解されて吸収される。
- ・脂質には長鎖脂肪酸と中鎖脂肪酸があり、胆汁のリパーゼにより分解され門脈に吸収される過程と小腸でミセルを形成後カイロミクロンとなってリンパ管に吸収される過程とがある。
ミセルを形成するのは長鎖脂肪酸で吸収が遅いのに対し、中鎖脂肪酸は直接門脈に吸収されることから吸収の早い脂肪酸である。
- ・タンパク質はペプシンにより変性タンパク質となり、十二指腸で膵液によりポリペプチドまで分解され、小腸でオリゴペプチド、ジペプチド、アミノ酸に分解される。ジペプチドやアミノ酸まで分解されると小腸上皮細胞から吸収される。

3. 腹部診察の順番を説明してください。

問診→視診→聴診→打診→触診の順番で診察を進める。

4. 聴診による蠕動音亢進の評価方法を説明してください。

60秒間聴診し、常に聴取される場合を亢進、5回以上を正常、減弱している場合や消失している場合を聴取なしと判断する。

5. 触診の3手順を説明してください。

①患者へ説明する ②手を温める ③丁寧に触診する